

歌舞伎からみるお江の時代

特

別講演会のお知らせ

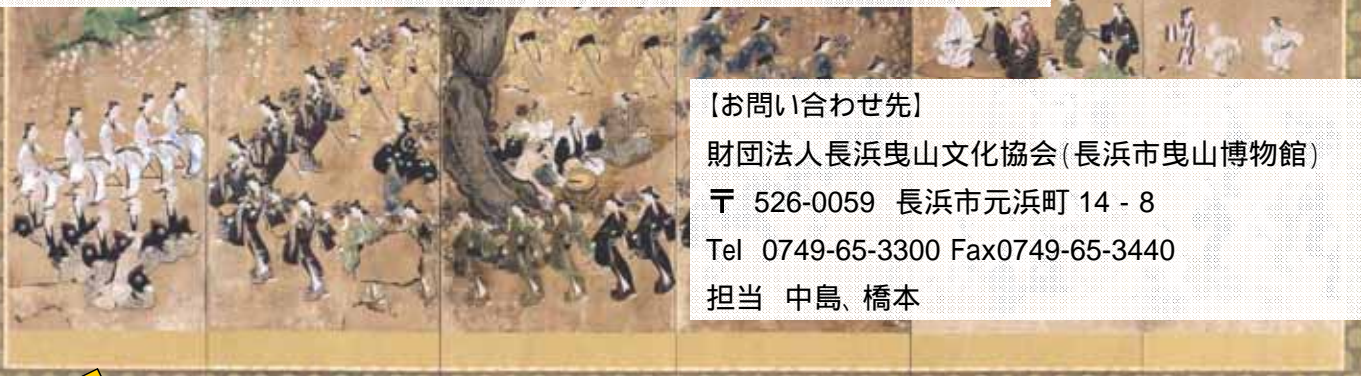
お江の生きた時代は、人々が時代の気風に傾(かぶ)き、自らの生を大いに享受しようという時代でした。本館では現在、長浜曳山子ども歌舞伎の原点というべき華麗な歌舞伎の諸相を連続展示しています。今回の特別企画展では、阿国以降の歌舞伎の姿を描いた貴重な江戸時代前期の風俗画を紹介します。そこには役者はもちろん当時の流行を全身で甘受した人々の姿が生き活きと描かれています。本講座ではスライドを用いて、役者たちの当時の装束やそれを見物する人々の表情、風体などそこに描かれた人々の姿を照射しながら、追ってみたいと思います。

女性によって担われた初期の歌舞伎は、現在の男性による歌舞伎＝野郎歌舞伎に変化します。一方は浮世絵の芝居絵、もう一方は美人画へ受け継がれていく、絢爛たる美の行方にも注目します。本館ならではの歌舞伎絵巻講座にどうぞ奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

開催日時:平成 23 年 5 月 14 日(土)13:30～ 終了後、展示説明を開催

場 所:曳山博物館伝承スタジオ

(聴講料は無料です。事前のお申し込みも必要ありません)



【お問い合わせ先】

財団法人長浜曳山文化協会(長浜市曳山博物館)

〒 526-0059 長浜市元浜町 14 - 8

Tel 0749-65-3300 Fax0749-65-3440

担当 中島、橋本

野郎歌舞伎図屏風 17 世紀後期-大寶寺蔵(福井県指定文化財)

講

師紹介



たじま たつや

田島 達也氏 京都市立芸術大学 准教授

1964 札幌生まれ 1990～京都大学大学院文学研究科修士課程修了、同博士課程中退ののち同年京都文化博物館学芸員。1997～北海道大学文学部助教授を経て、現在は京都市立芸術大学美術学部准教授として指導にあたる。専門は日本美術史、特に近世絵画史を中心とする。京の美人画展や池大雅などの展覧会を企画。2010 年の京都市立芸術大学 130 周年記念展では、京都日本画の誕生展を企画運営。障壁画から美人画そして現代のキャラクター文化まで興味の幅は広い。「『平安人物志』に登場する画家一覧」「朱雀9」(1997)をはじめ多くの論文がある(滋賀県米原市在住)